



wellengang performance

ウェレンギャング パフォーマンス

取扱説明書

— 必ずお読みください —

このたびは本品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために、必ずご使用前に本取扱説明書をお読みください。

また、本取扱説明書はお読みいただいたのち、いつでもお読みになれるよう大切に保管してください。



《目 次》

1. 安全上の禁忌・禁止、警告、注意	3
2. 製品概要および各部・付属品の名称・構造	7
2-1 製品概要	7
2-2 各部・付属品の名称・構造	7
3. 使用に際しての流れ	8
4. 設置条件・設置方法	8
5. 使用前の準備	9
5-1 機器の始動方法	9
5-2 始業点検	10
6. 使用方法とその注意事項	11
6-1 トレーニングの前に	11
6-2 トレーニングを行うときの姿勢	11
6-3 トレーニングの開始と停止	12
6-4 振動周波数の選び方	13
7. 使用後の処理	13
7-1 運転の終了	13
7-2 本体および付属品の廃棄方法	13
8. 清掃方法	14
9. 故障かな?と思ったら	14
10. アフターサービスについて	15
11. 技術仕様	15

1 安全上の禁忌・禁止、警告、注意

ご使用の前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、本品を使用する場合の、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、また本品の効果を最大限に発揮させ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。図の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。記載事項に反した取り扱いにより発生した事故等につきましては、当社では責任を負いかねます。また、記載事項に反した取り扱いによる本品の故障、破損につきましては、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

⚠ 表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
⚠ 禁忌・禁止	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷※ ¹ を負う可能性が高いので、絶対に実施してはいけないこと」を示します。
⚠ 警告	「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。
⚠ 注意	「誤った取り扱いをすると、人が傷害※ ² を負う可能性、または物的損害※ ³ のみが発生する可能性があること」を示します。

※1：重傷とは、障害、後世代に先天性の異常が出る、入院または入院の延長をしての治療をしなければならない症状等をさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電等をさします。

※3：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

⚠ 禁忌・禁止

以下の症状のある（または疑いのある）方には使用しないこと。

- ・急性期の血栓症がある方
- ・妊娠している方
- ・ステントやバイパス手術を行ってから6ヶ月以内の方

⚠ 注意

以下の症状のある(または疑いのある)方は医療従事者に相談の上、使用してください。

- ・ 慢性の腰痛がある方
- ・ 過去にステントやバイパス手術を行った方
(処置後6ヶ月を経過しない場合はご使用いただけません)
- ・ 胆石および腎石がある方
- ・ 心血管系疾患がある方
- ・ 関節炎がある方
- ・ めまいやふらつきがある方
- ・ 腫瘍がある方
- ・ コイル状避妊具を留置してから4週間以内の方
- ・ 転倒のリスクが高い方

まれに本品を使用することで以下のような状態になる場合があります。症状が長引く場合は医師に相談してください。

- ・ 血圧の一時的な低下
- ・ めまい
- ・ トレーニング部位の掻痒感(血流改善による)
- ・ 糖尿病患者における急速な低血糖(強度のトレーニングをした場合)

設置するにあたっての注意

本体の移動や設置は、安全を確認しながら行ってください。

- ・ 落としたりぶつけたりした場合、けがをするおそれがあります。

本体を設置する際は、下に防振マットを敷いてください。

- ・ 設置場所に伝わる振動を軽減します。
- ・ 本体設置跡が床面に残るおそれがあります。

トレーニングを行う人から見て正面になる位置に、固定された手すりを設置してください。または平行棒の間に本品を設置してください。

アースを正しく確実に接続してください。

- ・ 火災や感電の原因になります。

指定の電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。

- ・ 火災や感電、故障、誤作動の原因になります。

屋外に設置しないでください。

- ・ 故障の原因になります。

電源プラグは確実にコンセントの根元まで挿し込んでください。

- ・ 火災や感電、誤作動の原因になります。

傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントを使用しないでください。

- ・ 火災や感電、故障、誤作動の原因になります。

電源プラグをたこ足配線しないでください。

- ・ 火災や感電、故障、誤作動の原因になります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。

- ・ 故障や過熱、発火の原因になります。

設置するにあたっての注意	水等の液体がかからない場所に設置してください。 ・火災や感電、故障、誤作動の原因になります。
	化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないでください。 ・火災の原因になることがあります。
	傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のない安定した場所に設置するとともに、本体の上に物を置いたり、衝撃を与えたりしないでください。 ・落ちたり、倒れたりしてけがをする原因になります。 ・故障や誤作動の原因になります。
	本体をシート等で覆わないでください。 ・本体の熱が逃げず、火災の原因になることがあります。 ・本品の機能が発揮されません。
	気圧、温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気による悪影響が生じるおそれのない場所に設置してください。 ・故障の原因となるおそれがあります。 ・本品の機能が発揮されません。
	熱器具に近づけないでください。 ・火災や故障の原因になります。
	周囲の壁や他の物品から十分に離してください。 ・本品の機能が発揮されません。
	動作環境推奨条件下で使用してください。 （動作環境推奨条件 室温:0～30℃、湿度:30～75%） ・故障や誤作動の原因になるおそれがあります。
	発電機、放送受信機の近くに設置しないでください。 ・故障や誤作動の原因になるおそれがあります。
	安定した電源供給環境に設置してください。 ・動作中に停電した場合、プラットフォームが意図せず停止して危険です。
	電源コードの上に物をのせたり、電源コードを加工したり、無理に曲げたり、捻ったり、引っ張ったり、熱器具に近づけたりしないでください。 ・故障や誤作動の原因になるおそれがあります。 ・動作中に電源コードが抜けた場合、プラットフォームが意図せず停止して危険です。
使用前の注意	電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところおよび2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くでは使用しないでください。 ・故障や誤作動の原因になるおそれがあります。
	本品の性能の維持、安全性の確保のために、10ページの「5-2 始業点検」に記載されている始業点検を必ず行ってください。異常が認められた場合はただちに使用を中止し、当社お客様窓口または販売業者／販売店までご連絡ください。 ・本品の機能が発揮されません。 ・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

使用するにあたっての注意	全体	トレーニング中、体に違和感が生じた場合は、使用を中止してください。
		必ず使用者が準備ができた状態で動作を開始させてください。 プラットフォームから降りるときは、必ず動作を停止させてから降りてください。
		操作盤を操作するときは下を向く必要が生じます。その状態でプラットフォームが振動することに対して、トレーニングをする人に恐怖心がある等不都合がある場合は、別の人が操作を介助してください。
	本体	本品で子供が遊ばないよう装置の管理者が注意をしてください。
		トレーニング中は使用者が誤った使い方をしないよう装置の管理者が注意をしてください。
		トレーニングをひとりで行えない使用者には、管理者がそばについて指導してください。
		トレーニングは必ず靴を履いて行ってください。
		トレーニングは無理をせず、心地よいと感じる振動周波数で行ってください。
		本体内部に液体が入らないようにしてください。 ・故障や感電の原因になります。
		プラットフォーム内部にピンやクリップなどの異物が入らないようにしてください。 ・故障や異音の原因になります。
使用後の注意	使用後は電源を切り、長期間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・故障の原因になります。	
	清掃するときは、溶解剤、腐食剤、研磨剤を使わないでください。	
	清掃をするときは、液体をかけないでください。	
その他の注意	分解や改造を行わないでください。 ・故障の原因になります。	
	本品に異常を感じた場合はただちに使用を中止し、当社お客様窓口または販売業者／販売店までご連絡ください。	
	本品は、小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を受けたモジュールを内蔵しています。本品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。本品に以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。 ・本品を分解、改造すること ・モジュールに貼ってある証明ラベルをはがすこと	

2 製品概要および各部・付属品の名称・構造

2-1 製品概要

1) 本品の使用目的

本品は体に振動を与えて筋肉に刺激を与えたり、リラクゼーションを促して全身のコンディショニングを行う目的に使用します。

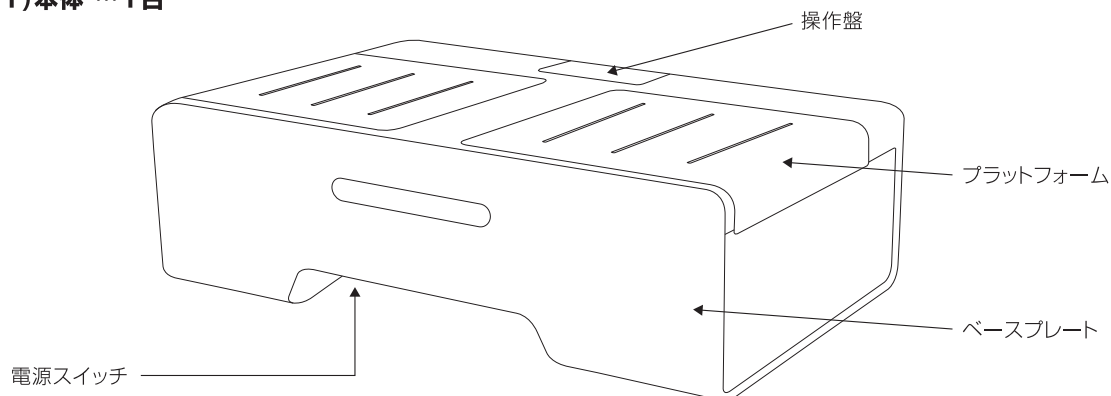
2) 本品の作動原理

本品は、プラットフォームが振動することで体に刺激を与えます。体位を変えることで、刺激を与える部位を変えることができます。また振動周波数を選べるので、使用者に適した振動でトレーニングを行うことができます。

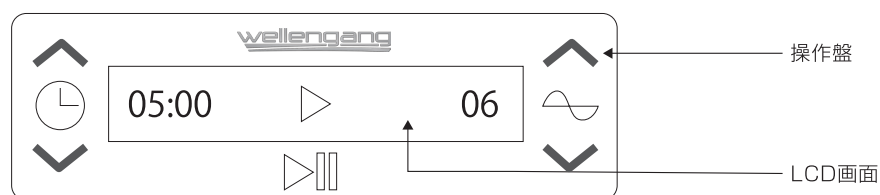
2-2 各部・付属品の名称・構造

本品の構成は以下のとおりです。すべてそろっているか必ず確認してください。万一不足しているものがある場合は、当社お客様窓口または販売業者／販売店までご連絡ください。

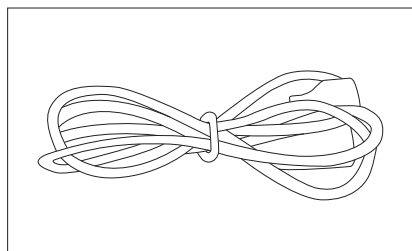
1) 本体 … 1台



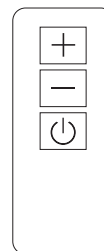
(操作盤の拡大図)



2) 電源コード … 1本



3) リモコン … 1個



4) 防振マット … 1枚

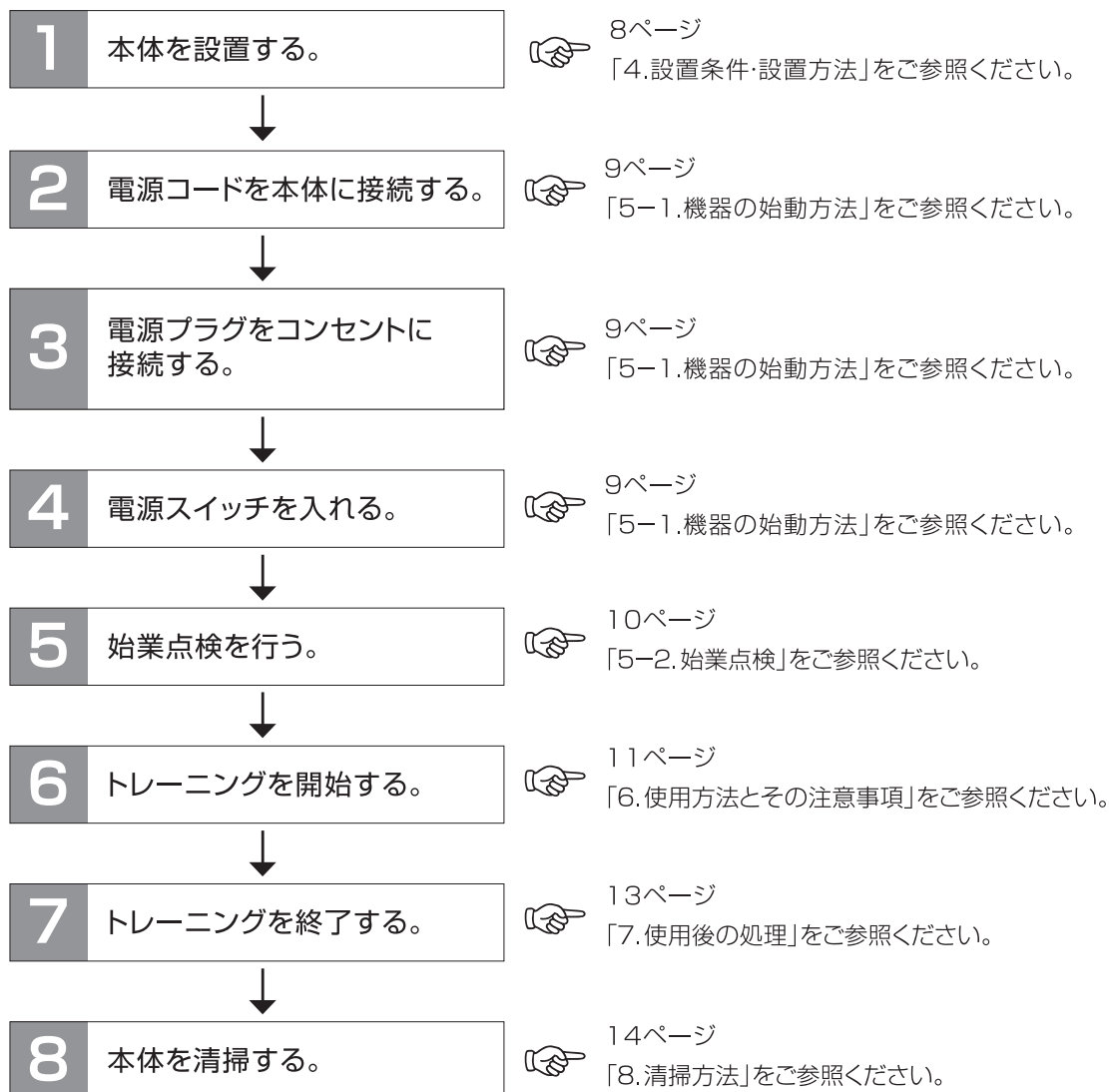
以下は書類です。

5) 取扱説明書

6) 保証書

3 使用に際しての流れ

使用前の準備をする際は、「1. 安全上の禁忌・禁止、警告、注意」の章を必ずご参照ください。



4 設置条件・設置方法

設置をする際は、「1. 安全上の禁忌・禁止、警告、注意」の章を必ずご参照ください。

- ① 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のない安定した場所に設置してください。
- ② 周囲に軽いものや動きやすいものがない場所に設置してください。
 本品の振動に共鳴して振動するおそれがあります。
- ③ 周囲に 5cm 以上のスペースを設けてください。
- ④ 本品を使用の際は、手すりの前や、平行棒の間に設置してトレーニングを行ってください。
- ⑤ 設置後に、試運転をしてください。

※設置の際は、本体の下に防振マットを敷いてください。

⚠ 注意

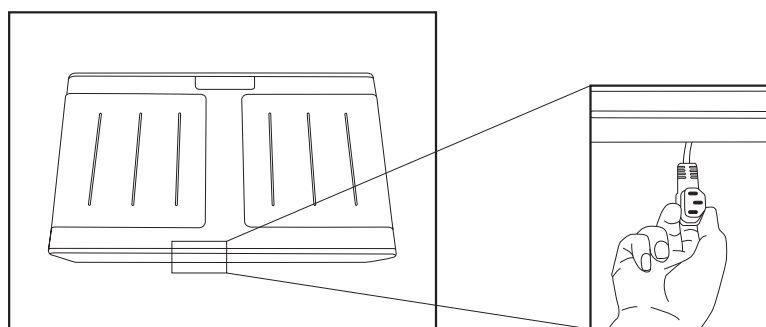
動作環境推奨条件下で使用してください。
(動作環境推奨条件 室温:0~30℃、湿度:30~75%)
・故障や誤作動の原因になるおそれがあります。

5 使用前の準備

使用前の準備をする際は、「1. 安全上の禁忌・禁止、警告、注意」の章を必ずご参照ください。

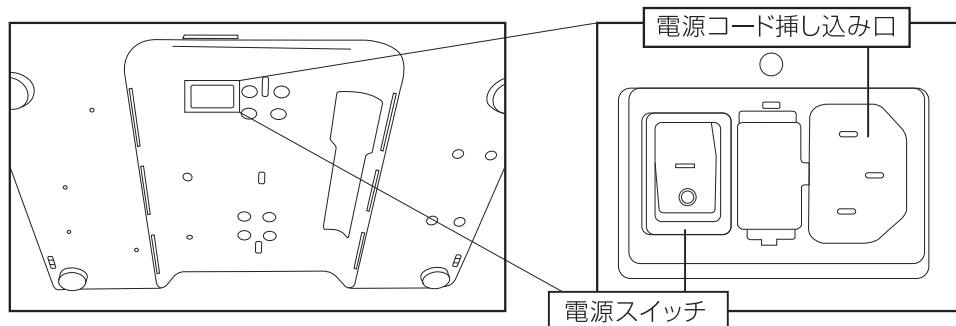
5-1 機器の始動方法

- ① 電源コードを本体に接続します。電源コードは下図の向きに挿し込みます。



< ベースプレートの裏面 >

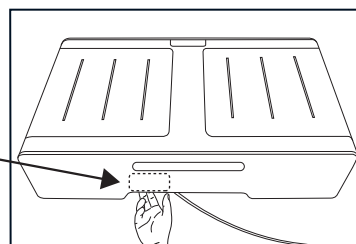
(拡大図)



- ② 電源プラグをコンセントに挿し込みます。
③ 電源スイッチを手前（↑側）に倒します。電源スイッチはベースプレート正面の底面にあります。

ポイント

電源スイッチは
↓電源スイッチ
というラベルシールの
赤い矢印の辺りにあります。



- ④ 機器が起動し、LCD 画面が点灯します。

5-2 始業点検

本品を安全にお使いいただくために以下のリストにしたがって始業点検をしてください。

	検査項目	合否判定基準／検査結果	判定方法	判定 (○or×)
1	本体	破損がないこと。	目視	
2	電源	電源を入れると通電して、操作パネルに数字が表示されること。	目視	
3	操作盤操作	操作盤を操作して、以下の動作がされることを確認する。 ・ 振動を開始できる。 ・ 振動周波数の強度を調節できる。 ・ 時間を調節できる。 ・ 振動を停止できる。	目視	
4	リモコン操作	リモコンを操作して、以下の動作がされることを確認する。 ・ 振動を開始できる。 ・ 振動周波数の強度を調節できる。 ・ 振動を停止できる。	目視	

6 使用方法とその注意事項

ご使用にあたっては、「1. 安全上の禁忌・禁止、警告、注意」の章を必ずご参照ください。

6-1 トレーニングの前に

- ① トレーニングは、必ず靴を履いて行ってください。
- ② トレーニングを行う際の靴は、靴底が平らで厚すぎないものを履いてください。
- ③ プラットフォームの上に立つときは、両足がはみ出さないように立ってください。
- ④ プラットフォームの上に立つときは、左右均等に体重をかけてください。
- ⑤ プラットフォームの上に立つときは、膝を軽く曲げた状態で立ってください。
- ⑥ 脚の開きの幅（スタンス）が広いほど、振幅が増すためトレーニングの強度が上がります。逆に脚の開きの幅（スタンス）が狭いほど、トレーニングの強度が下がります。使用者のレベルや体調にあった脚の開きの幅（スタンス）でトレーニングを行ってください。
- ⑦ トレーニング中は正面を向いてください。LCD 画面に視線を落としたままトレーニングを行うと、めまいの原因となる場合があります。
- ⑧ 介助者が操作を行う場合は、必ず使用者がトレーニングを行う体勢になってから振動を開始させてください。
- ⑨ プラットフォームから降りる際は、振動が完全に止まってから降りてください。
- ⑩ 本品を作動させる際は、高い周波数で開始せず、低い周波数から始めてください。

⚠ 注意

本品で子供が遊ばないよう装置の管理者が注意をしてください。

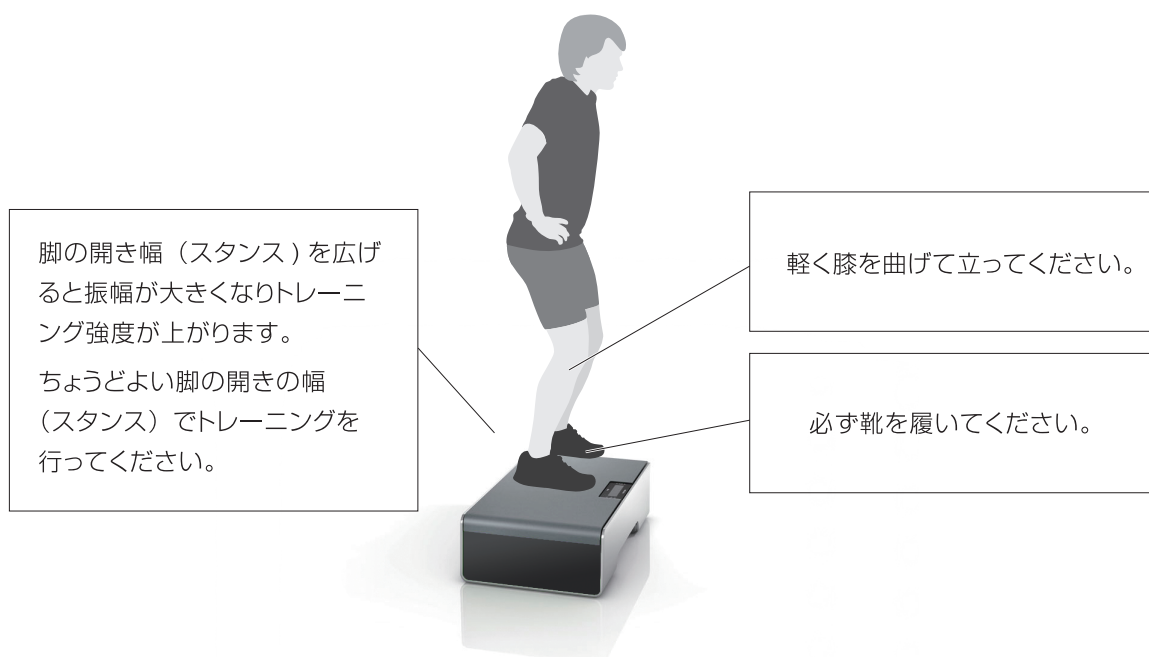
トレーニング中は使用者が誤った使い方をしないよう装置の管理者が注意をしてください。

トレーニングをひとりで行えない使用者には、管理者がそばについて指導してください。

トレーニングは無理をせず、心地よいと感じる振動周波数で行ってください。

トレーニング中に体に違和感が生じた場合は、使用を中止してください。

6-2 トレーニングを行うときの姿勢



6-3 トレーニングの開始と停止

振動周波数とトレーニング時間を設定し、振動を開始させると、トレーニングが行えます。設定したトレーニング時間が経過すると振動は自動的に停止しますが、途中で停止させることもできます。以上の操作のうち、振動周波数の設定と、振動の開始／停止は、リモコンを使って操作することもできます。

1. 操作盤で操作する方法



- ① トレーニングを行う振動周波数と時間を選択します。
 振動周波数は、操作盤の マークの上にある [] ボタンを押すと増加し、下にある [] ボタンを押すと減少します。
 トレーニング時間は、操作盤の マークの上にある [] ボタンを押すと増加し、下にある [] ボタンを押すと減少します。[] [] ボタンを長く押すと高速で設定可能です。
 振 動 周 波 数 : 1～20Hz (1Hz 単位で設定が可能)
 トレーニング時間 : 10 秒～30 分 (10秒単位で設定が可能)
- ② プラットフォームに乗ります。
- ③ [] ボタンを押して、振動を開始させます。
- ④ LCD 画面に表示されたトレーニング残時間がなくなると、振動が停止します。
 途中で振動を止めたい場合は、再び [] ボタンを押すと、一時停止します。この状態で振動周波数やトレーニング時間を設定しなおすことも可能です。その後、再び振動を開始させたい場合は、再び [] ボタンを押します。

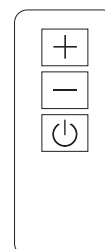
⚠ 注意

操作盤を操作するときは下を向く必要が生じます。その状態でプラットフォームが振動することに対して、トレーニングをする人に恐怖心があるなど不都合がある場合は、別の人が操作を介助してください。

2. リモコンで操作する方法

振動周波数の設定と振動の開始／停止は、リモコンを使用してプラットフォームに乗った状態で操作することもできます。

- ① トレーニングを行う時間を選択します。
 トレーニング時間は、リモコンでは設定できません。
 「1. 操作盤で操作する方法」に従って操作盤で操作して設定してください。
- ② プラットフォームに乗ります。
- ③ リモコンを使って振動周波数を設定します。リモコンの [] ボタンを押すと増加し、[] ボタンを押すと減少します。
- ④ リモコンの [] ボタンを押して、振動を開始させます。
 プラットフォームが振動している状態で振動周波数を変えることも可能です。



- ⑤ LCD 画面に表示されたトレーニング時間が経過すると、振動が停止します。
- 途中で振動を止めたい場合は、再び [⏻] ボタンを押すと、一時停止します。この状態で振動周波数やトレーニング時間を設定しなおすことも可能です。その後、再び振動を開始させたい場合は、再度 [⏻] ボタンを押します。

3. ランダム振動周波数

設定をした振動周波数を中心とし、 $\pm 2\text{Hz}$ の範囲で振動周波数がランダムに変動します。
(例：10Hzで設定した場合、8～12Hzの範囲でランダムに変動します)。

- ① リモコンの [⏻] ボタンを長く押します。LCD 画面の振動周波数の横に [🌀] マークが表示されます。



- ② 本体の [▶⏮] ボタンまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、振動を開始させます。

6-4 振動周波数の選び方

1～7ヘルツ	固有受容感覚、バランス感覚のトレーニング
8～12ヘルツ	リラクゼーション、筋肉への弱めの刺激
13～20ヘルツ	筋肉や骨へのやや強い刺激による身体トレーニング

⚠ 注意

トレーニングは無理をせず、心地よいと感じる振動周波数で行ってください。

7 使用後の処理

ご使用後の処理をする際は、「1. 安全上の禁忌・禁止、警告、注意」の章を必ずご参照ください。

7-1 運転の終了

- ① 設定した時間が経過すると振動が停止します。途中で止めたい場合は本体の [▶⏮] ボタンを押す、または [⏻] ボタンを押して停止させてください。
- ② 本体の電源スイッチをオフにします。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜きます。

7-2 本体および付属品の廃棄方法

本体および付属品を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処理業者に廃棄を依頼してください。また、販売業者／販売店へもご連絡ください。

8 清掃方法

清掃をする際は、「1. 安全上の禁忌・禁止、警告、注意」の章を必ずご参照ください。

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② 濡らして硬くしぼった布で、本体を拭きます。

⚠ 注意

清掃をするときは、溶解剤、腐食剤、研磨剤を使わないでください。

清掃をするときは、液体をかけないでください。

9 故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前にもう一度以下の事項を確認してください。

トラブルの内容	考えられるトラブルの原因と確認事項	対処法
電源が入らない	電源コードがゆるんでいた り抜けている可能性があります。	電源コードをご確認ください。
	電源スイッチがオフになっ ている可能性があります。	電源スイッチをオンにし てください。
プラットフォームが 動かない	電圧の変動により通信に問 題が生じている可能性があ ります。	15分間コンセントを抜いて から再度電源を入れてス タートさせてください。
	(リモコンで操作している場合) リモコンの電池が切れている 可能性があります。	リモコンの電池を交換します。 当社お客様窓口または販売 業者／販売店までご連絡く ださい。

上記の対処を行っても正しく動作しない場合は、本体の故障が考えられますので当社お客様窓口または販売業者／販売店までご連絡ください。

⚠ 注意

分解や改造を行わないでください。

・火災や感電、故障、誤作動の原因になります。

本品に異常を感じた場合は使用を中止し、当社お客様窓口または販売業者／販売店までご連絡ください。

10 アフターサービスについて

本品の修理については、当社お客様窓口または販売業者／販売店までご連絡ください。

修理の内容

トラブルの原因を究明し、必要に応じて部品交換を行います。

■お客様窓口 TEL.0800-222-6122（通話料無料）

受付時間：9時～17時（平日）
※土日、祝日、年末年始を除く

11 技術仕様

名称	wellengang performance（ウェレンギャング パフォーマンス）
本体の総質量	約 57kg
本体の寸法	奥行き 390× 幅 660× 高さ 200mm
定格入力	AC100V 50／60Hz
消費電力	550W
振動周波数	1～20Hz（1Hz単位で設定が可能）
振幅	±3.75mm
保護等級	IP20
設定可能なトレーニング時間	10秒～ 30分（10秒単位で設定が可能）
リモコン通信帯域	2.4GHz

運送・保管条件 保管温度：－10～30℃ 保管湿度：30～95%（結露しないこと）

※ 予告なく製品の仕様変更になる場合があります。

※ 本体の保証期間は、ご購入日より2年間です。保証についての詳細は、添付の保証書をご参照ください。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不良等、お気づきの点がございましたら、当社お客様窓口または販売業者／販売店までご連絡ください。

製造業者

wellengang

製造販売業者

日本シグマックス株式会社

〒163-6033 東京都新宿区西新宿 6-8-1

■お客様窓口 TEL.0800-222-6122 (通話料無料)

受付時間：9時～17時(平日)※土日、祝日、年末年始を除く